



社会医療法人 三和会

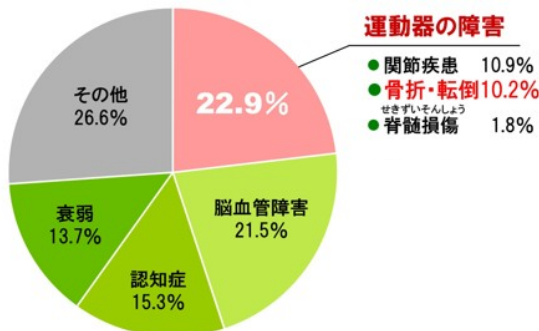
りんくう永山病院

“今回の入院を最後の入院に”



当院では“今回の入院を最後の入院に”をコンセプトに骨折予防、転倒予防、栄養改善、認知症予防に多職種チームで取り組んでいます。

わが国の人口の著しい高齢化にともない、要介護者が急増しています。要介護になると今までと同じ生活を送ることが難しくなります。そこで要介護の一手手前のフレイル段階での対策が重要です。

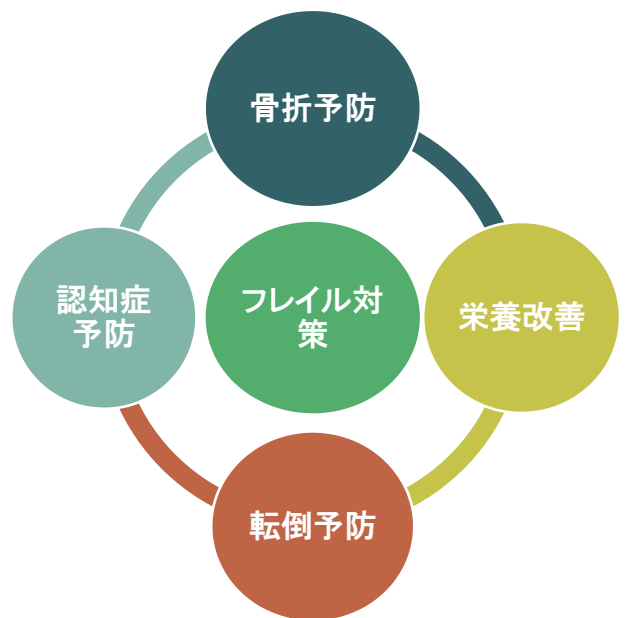


要介護にいたる要因
厚生労働省「平成25年 国民生活基礎調査」

骨折や転倒により
要介護状態となる
リスクが高い!!



当法人では、要介護の一手手前といわれている“フレイル(虚弱)”段階での対策を目的に4つの視点で取り組みを行っています。



骨折やその原因となる転倒を予防することはたいへん重要です。また、栄養状態の改善や認知症の予防も退院後の生活を意気! 活き! とおくるためには重要です。

- **血液検査**:入院時の全身状況の確認と栄養指導に利用します。
- **背骨X線**:骨粗しょう症を原因とする背骨の骨折のうち3分の2は無症状であるため、背骨を撮影し、“いつのまにか骨折”を探します。
- **骨密度**:最新型の骨密度測定器を用いて骨の強度を評価します。
- **体組成**:筋肉量、体脂肪量を測定し、栄養指導やリハビリの効果判定に利用します。
- **口腔ケア**:リハビリに必要な栄養を摂取するために、口腔ケアはとても重要です。入院時に歯科医師による口腔内の検診を実施しております。
- **嚥下機能**:飲み込む力は食事に重要です。しっかり食事をとることが出来るのか評価します。
- **認知機能**:認知機能の低下は、転倒にも関わるため検査を行います。必要に応じて専門医の診察を受けて頂きます。

骨折予防



骨折原因となる骨粗しょう症に該当した方には必要な治療を開始します。
また転倒予防トレーニングも強化します。

栄養改善



栄養状態が低下している方にはリハビリテーションの効果を高めるために、栄養補助食品を提供します。

認知症 予防



認知機能向上のために、専用の最新器具を用いた二重課題エクササイズを行います。



意気! 活き!

健康かなえ隊